

ホームページ用情報公開文書

研究課題：難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ投与後の低 IgG 血症と感染症に関する検討

1. 研究の目的

難治性ネフローゼ症候群に対する治療としてリツキシマブの投与の有効性の報告は多数あり、リツキシマブによる治療を受ける患児は増加しています。しかし、晩期合併症である低 IgG 血症がみられることが報告されていますが原因や感染症の合併の頻度は不明なため、今回どんな特徴が低 IgG 血症や感染のリスクになるか検討することを目的としました。

2. 研究の方法

難治性ネフローゼ症候群の患者を対象に、リツキシマブ投与後 6 か月時の低 IgG 血症に関しての検討と、6 か月後に低 IgG 血症を認めた症例のさらに 1 年後の IgG の経過と感染症に関して後方視的に検討します。

3. 研究期間

2008 年 2 月から 2017 年 3 月

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録からの後方視的検討

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

外部への資料・情報の提供はありませんが、研究成果の公表として学術目的に公表されることがありますが、患者情報は匿名化し、個人が特定され得る情報は絶対に使用しないように徹底いたします。

6. 研究組織

埼玉県立小児医療センター腎臓科 藤永周一郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年8月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）